

平成28年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月10日

上場会社名 株式会社 オーネックス
 コード番号 5987 URL <http://www.onex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 大屋 和雄
 (氏名) 鶴田 猛士

TEL 046-285-3664

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年6月期第1四半期の連結業績(平成27年7月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年6月期第1四半期	1,259	△2.4	98	21.3	101	17.8	68	22.1
27年6月期第1四半期	1,290	6.0	81	—	86	—	55	—

(注) 包括利益 28年6月期第1四半期 45百万円 (△37.4%) 27年6月期第1四半期 73百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年6月期第1四半期	4.11	—
27年6月期第1四半期	3.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
28年6月期第1四半期	9,508	—	5,332	—	56.1	321.94
27年6月期	8,479	—	5,319	—	62.7	321.18

(参考) 自己資本 28年6月期第1四半期 5,332百万円 27年6月期 5,319百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年6月期	—	0.00	—	2.00	2.00
28年6月期	—	—	—	—	—
28年6月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年6月期の連結業績予想(平成27年7月1日～平成28年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,708	3.3	120	△34.6	103	△45.7	47	△60.2	2.86
通期	5,438	4.4	201	△35.7	208	△35.8	85	△55.6	5.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年6月期1Q	16,600,000 株	27年6月期	16,600,000 株
28年6月期1Q	36,103 株	27年6月期	34,505 株
28年6月期1Q	16,563,897 株	27年6月期1Q	16,568,798 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、現政権による経済政策と金融緩和政策の効果により、緩やかな回復基調が続き、雇用、所得環境は改善傾向にあります。公共投資は総じて弱含みで推移し、生産も外需向け受注が減少傾向にあります。一方で円安の定着化や原油価格の低下によるエネルギーコストの低下が企業収益を押し上げていますが、輸出が弱含みで推移しており、海外では中国を始めとするアジア新興国等の景気が減速していること、及び世界的な政情の緊迫化等による先行き不透明感が根強く残っています。

このような経済状況の下で、当社グループは、生産性の向上に取り組み原価低減を図り収益性向上に努めました。主力取引業界である自動車、建設機械、産業工作機械の中で、自動車部品関連受注、産業工作機械関連受注が好調に推移したものの、建設機械は中国の景気減速により低調に推移したため、売上は前年同四半期連結累計期間と比較して減収となりました。一方で、ガス・電力費等の製造コストが低下し、経費の削減に努めたため前年同四半期連結累計期間と比較して増益となりました。

こうした事業活動の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,259百万円（前年同四半期比2.4%減）、営業利益は98百万円（前年同四半期比21.3%増）、経常利益は101百万円（前年同四半期比17.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は68百万円（前年同四半期比22.1%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①金属熱処理加工事業

金属熱処理業界においては、円安効果により輸出環境は好転しており、主力取引業界である自動車関連需要及び産業工作機械の受注は好調に推移し増加したものの、建設機械は中国経済の減速等により減少しました。

一方でガス、電気料金が低下し、生産性の向上及び人件費、諸経費削減に取り組み全力で収益の確保に努めました。

風力発電については、増速機用歯車の熱処理を主に手がけておりますが、国内の設置需要を中心に緩やかな回復傾向にあります。

これらの結果、売上高は1,122百万円（前年同四半期比2.4%減）、セグメント利益は82百万円（前年同四半期比22.4%増）となりました。

②運送事業

運送事業につきましては、道路舗装関連取引先の開拓等受注拡大に努め、機械などの重量物の搬送取り扱いが安定していたため、売上は堅調推移しました。また、軽油価格の低下、備車（外注）便を活用すると共に、運行管理の徹底、配車の効率化及びエコドライブによる燃費の削減などに努めました。

これらの結果、売上高は137百万円（前年同四半期比2.0%減）、セグメント利益は9百万円（前年同四半期比33.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

資産合計は、前連結会計年度末と比較して1,029百万円増加し、9,508百万円となりました。これは主に現金及び預金が820百万円、機械装置及び運搬具が88百万円、建設仮勘定が191百万円増加したことなどによるものです。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末と比較して1,017百万円増加し、4,176百万円となりました。これは主に短期借入金263百万円、長期借入金860百万円増加したことなどによるものです。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して12百万円増加し、5,332百万円となりました。これは主に利益剰余金が34百万円増加したものの、その他有価証券評価差額金が22百万円減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年6月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成27年8月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更
(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,983,073	2,804,020
受取手形及び売掛金	1,466,711	1,383,569
電子記録債権	280,682	316,170
製品	17,328	11,830
仕掛品	32,091	24,737
原材料及び貯蔵品	82,474	71,566
繰延税金資産	16,351	33,392
その他	121,864	136,857
貸倒引当金	△337	—
流動資産合計	4,000,240	4,782,145
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	828,614	821,301
機械装置及び運搬具(純額)	295,918	384,751
土地	2,275,851	2,275,851
リース資産(純額)	120,531	109,876
建設仮勘定	247,334	439,008
その他(純額)	93,554	99,779
有形固定資産合計	3,861,804	4,130,568
無形固定資産	106,257	105,550
投資その他の資産		
投資有価証券	260,777	232,591
繰延税金資産	129,300	133,797
その他	118,519	118,135
投資その他の資産合計	508,596	484,525
固定資産合計	4,476,659	4,720,643
繰延資産	2,433	6,194
資産合計	8,479,333	9,508,984

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	219,889	198,653
電子記録債務	154,027	167,038
短期借入金	315,887	579,577
1年内償還予定の社債	148,000	75,000
未払金	141,462	139,955
未払費用	217,679	209,588
未払法人税等	102,381	55,782
賞与引当金	19,141	74,394
その他	240,681	266,042
流動負債合計	1,559,150	1,766,032
固定負債		
社債	167,500	130,000
長期借入金	811,645	1,672,317
退職給付に係る負債	476,443	473,053
その他	144,656	135,043
固定負債合計	1,600,244	2,410,414
負債合計	3,159,394	4,176,446
純資産の部		
株主資本		
資本金	878,363	878,363
資本剰余金	713,431	713,431
利益剰余金	3,655,274	3,690,263
自己株式	△5,332	△5,332
株主資本合計	5,241,736	5,276,725
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	78,202	55,811
その他の包括利益累計額合計	78,202	55,811
純資産合計	5,319,938	5,332,537
負債純資産合計	8,479,333	9,508,984

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)
売上高	1,290,738	1,259,935
売上原価	942,353	887,634
売上総利益	348,385	372,300
販売費及び一般管理費	266,829	273,372
営業利益	81,555	98,927
営業外収益		
受取利息	1,078	955
受取配当金	467	656
受取賃貸料	2,141	1,975
スクラップ収入	2,105	2,226
その他	4,580	2,580
営業外収益合計	10,373	8,395
営業外費用		
支払利息	3,292	4,376
支払手数料	1,514	1,198
社債発行費	809	—
その他	—	48
営業外費用合計	5,616	5,623
経常利益	86,312	101,699
特別利益		
固定資産売却益	1,328	4,327
特別利益合計	1,328	4,327
特別損失		
固定資産除却損	96	573
特別損失合計	96	573
税金等調整前四半期純利益	87,545	105,453
法人税、住民税及び事業税	54,674	52,013
法人税等調整額	△22,906	△14,677
法人税等合計	31,767	37,336
四半期純利益	55,777	68,117
親会社株主に帰属する四半期純利益	55,777	68,117

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	55,777	68,117
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,332	△22,390
退職給付に係る調整額	2,957	—
その他の包括利益合計	17,289	△22,390
四半期包括利益	73,067	45,726
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	73,067	45,726
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年7月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	金属熱処理 加工事業	運送事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,150,702	140,035	1,290,738	—	1,290,738
セグメント間の内部売上高又は振 替高	—	64,918	64,918	△64,918	—
計	1,150,702	204,954	1,355,657	△64,918	1,290,738
セグメント利益	67,032	7,136	74,169	7,386	81,555

(注) 1. セグメント利益の調整額7,386千円はセグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	金属熱処理 加工事業	運送事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,122,695	137,239	1,259,935	—	1,259,935
セグメント間の内部売上高又は振 替高	—	63,182	63,182	△63,182	—
計	1,122,695	200,422	1,323,118	△63,182	1,259,935
セグメント利益	82,076	9,554	91,631	7,296	98,927

(注) 1. セグメント利益の調整額7,296千円はセグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(厚木浸炭工場の火災発生について)

平成27年10月30日(金)に厚木工場の一部の設備において小火(ぼや)が発生し、直ちに消火活動を行い鎮火いたしました。

また、11月6日(金)には、ピット油槽1基を除き操業を再開いたしました。

このような状況下、現時点におきましては操業停止にかかわる費用及び販売を含めた事業への影響を合理的に見積もることは困難な状況であります。